

オンデマンド型遠隔授業に対 する大学生と教員の評価： 東京未来大学の事例

東京未来大学子ども心理学部

教授 大橋 恵 (ohashi.megumi(at)tokyomirai.jp)

東京未来大学の授業概要（春学期）

- こども心理学部（1学年300名程度）
 - 保育教育専攻…保育士、幼稚園教諭、小学校教諭
 - 心理学専攻… … 認定心理士、公認心理師
- モチベーション行動科学部（同80名程度）
- 原則として、オンデマンドで実施する。教材は、動画、音付パワポ、無音パワポ、学修指示（教科書等）どれでも構わない。
- 13週にわたり、定期的に教材を学習させる。
- 毎回必ず、学生に何らかの反応をさせる（確認テスト、ミニレポート等）。
- 7月1日から、一部対面授業が実施された。保育教育系は、1年・2年ともに週に2～3科目。心理系は、1年は週に一科目、2年はなし。

遠隔授業の分類

リアルタイム型

双方向型：演習など

一方向型：講義

オンデマンド型

動画・音付きスライド

音なしスライド

課題提示型

回答者と授業の方式

学生 8月上旬（最終授業週）に特定の**講義科目**で実施。回答率は85-97%（川口めぐみ、井梅由美子との共同研究）。

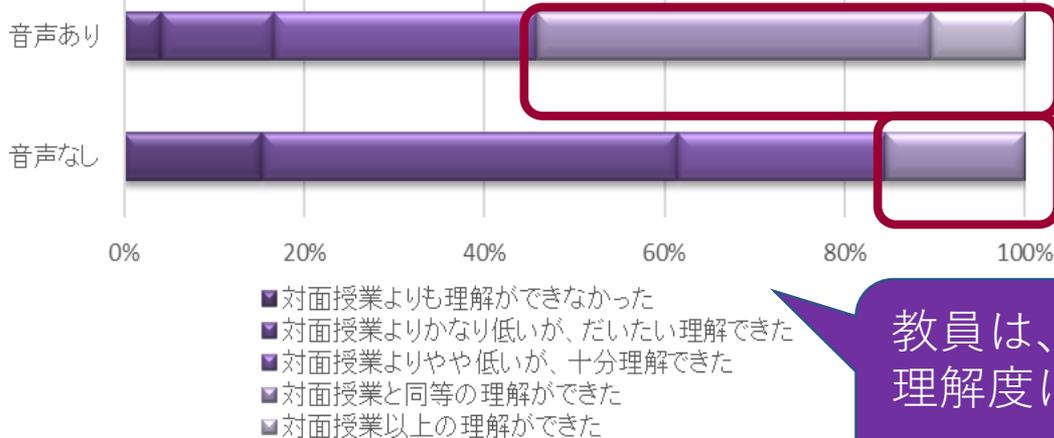
学年	最終週まで受講した者	回答者	分析対象者	男性	女性	授業方式
心理学系						
1年	120	100	94	(11)	(65)	音声付きパウポ
2年	96	86	76	(20)	(74)	音声付き動画
3年	93	77	77	(23)	(53)	音声付きパウポ
保育・教育系						
1年	205	199	191	(37)	(154)	音声付きパウポ
2年	191	173	173	(36)	(137)	→吹き出し付きパウポ
計	705	635	611	(127)	(483)	

その学年の学生が多く履修している科目から選んだ

注. 3年心理に一人性別が不明の者がいた。

教員 春学期授業を担当した者全員に8月下旬に依頼。そのうち、**スライド教材使用の講義科目**についての回答計61件（声あり48名、音声なし13名）を分析した。回答者内訳は、専任教員39名、非常勤講師22名である。

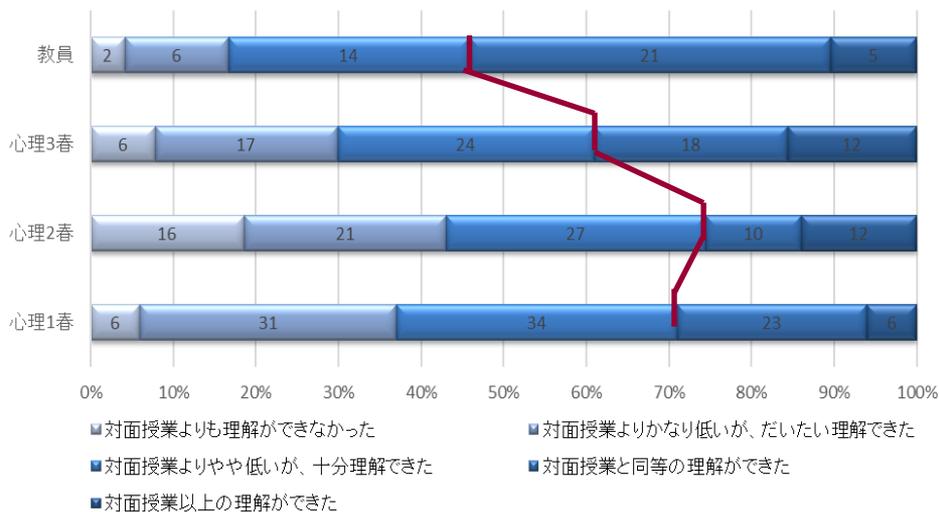
このやり方による授業で対面授業と同じくらい 授業の内容を理解できると思うか(教員)



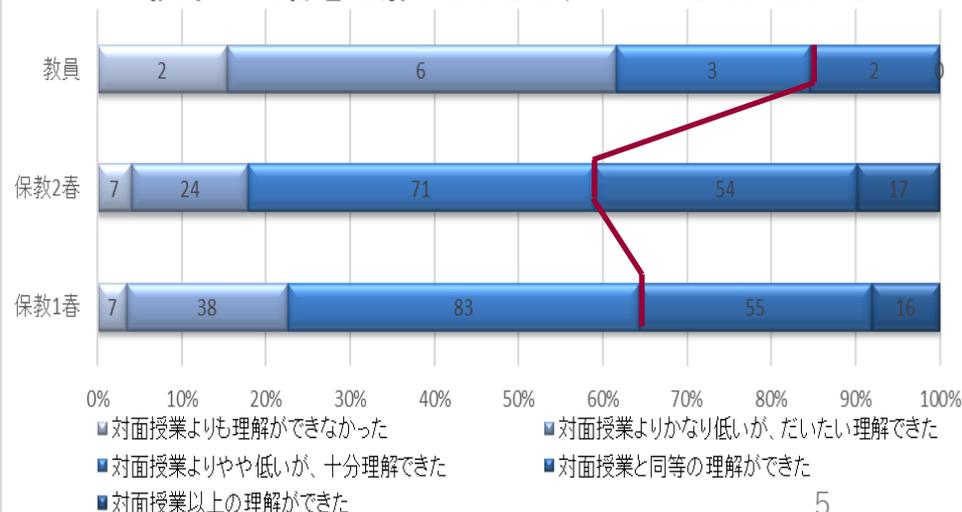
対面授業と同等・それ以上の理解ができると答えた人

教員は、音声の有無によって理解度は異なると考えているようなので

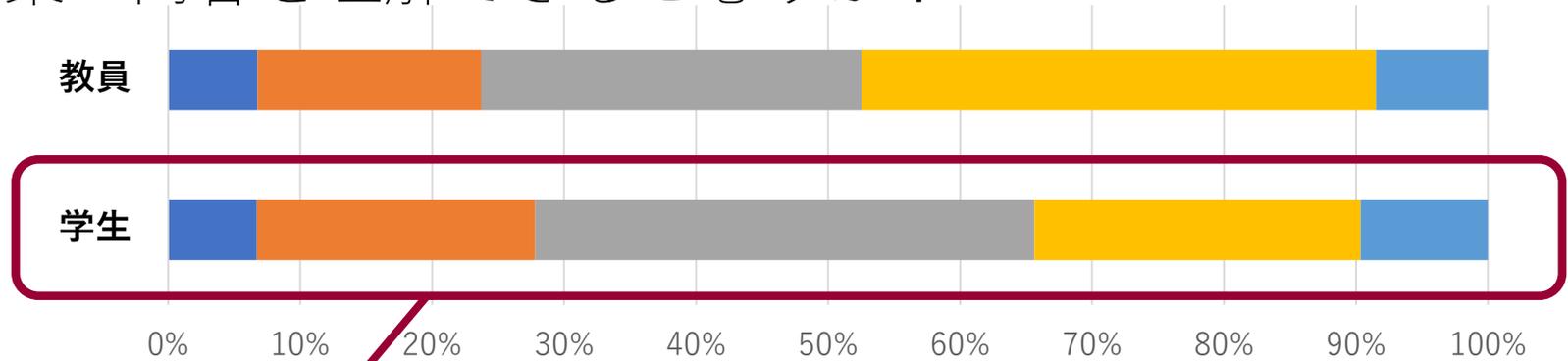
このやり方による授業で、学生は対面授業と同じくらい 授業の内容を理解できると思うか(パワポ音あり教材講義科目)



このやり方による授業で、学生は対面授業と同じくらい 授業の内容を理解できると思うか(パワポ音なし教材講義科目)

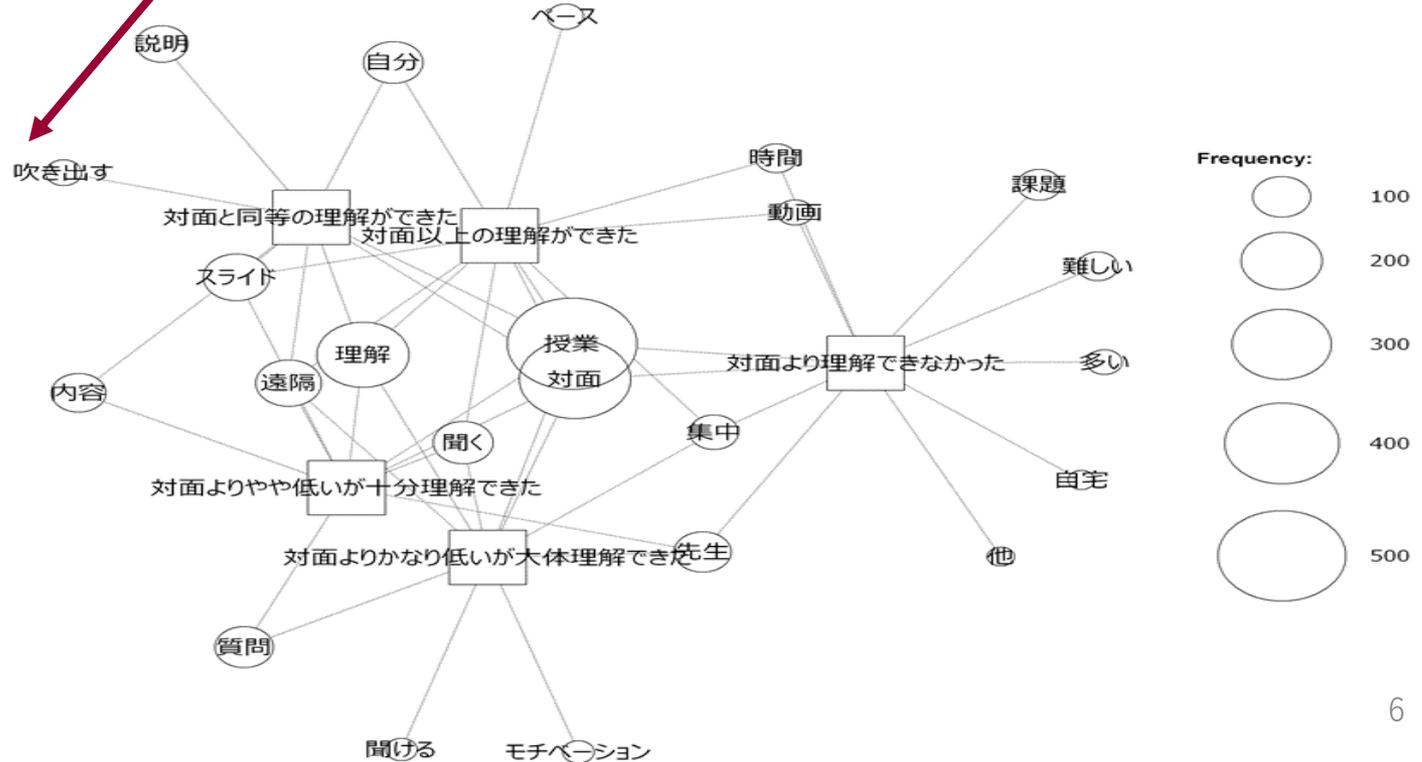


このやり方による授業で、対面授業と同じくらい授業の内容を理解できると思うか？

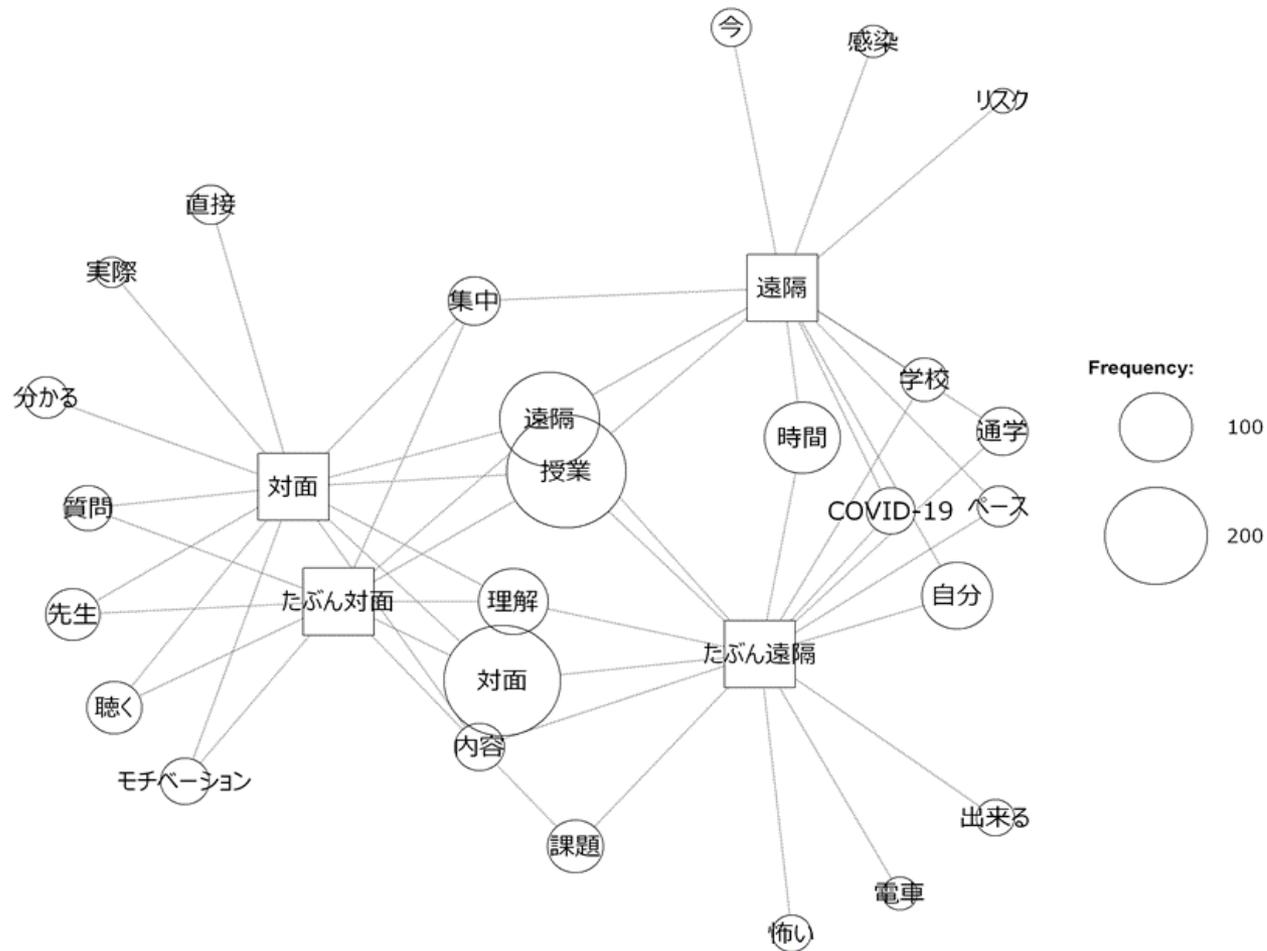


■ 対面より理解できなかった ■ 対面よりかなり低い ■ 対面よりやや低い ■ 対面と同等 ■ 対面以上

理由を質問
(自由回答)



「もし選べるなら遠隔授業と対面授業のどちらを希望するか」での選択理由



遠隔授業の相対的評価に影響した要因 (重回帰分析の結果 β)

変数名	全体
専攻	.09 *
性別	-.06 +
学年	.07 +
単方向性への不満	-.21 **
モチベ困難への不満	-.16 **
便利さへの満足	.09 *
明瞭さへの満足	.23 **
R^2	.27 **

注 ** $p < .01$, * $p < .05$, + $p < .10$

7月から対面が複数始まった、
保育教育系で高い

短所に不満な者ほど低い

長所に満足な者ほど高い

変数名	Mean	Median	(SD)
単方向性への不満	2.33	2.25	(0.88)
モチベ困難への不満	2.18	2.00	(0.93)
便利さへの満足	3.06	3.33	(0.90)
明瞭さへの満足	3.18	3.33	(0.84)

便利さへの満足

(4とても満足
~1何とも思わない)

- 「他の受講生に気を遣わないでよいところ」
- 「交通費・通学時間がかからないところ」
- 「自分の都合に合わせて受講できるところ」

明瞭さへの満足

- 「わかりにくいところだけ繰り返し視聴できるところ」
- 「配布資料がカラーで用意されているところ」
- 「画面が見やすく音量が調整できるところ」

単方向性への不満 (4とても不満~1問題ない)

- 「教員と交流しにくいところ」
- 「教員に質問がしにくいところ」
- 「他の受講生と交流しにくいところ」
- 「教材が一方通行であるところ」

モチベ困難への不満

- 「生活空間で学ぶことになるところ」
- 「1人なのでモチベーションを保つのが難しいところ」

ご清聴ありがとうございました

東京未来大学子ども心理学部

教授 大橋 恵

(ohashi.Megumi(at)tokyomirai.jp)